

## 給付奨学金+授業料減免の新規申込について

もしくは貸与奨学金と給付奨学金+授業料減免の両方を希望する場合の新規申込について

2020年4月から新たに始まった修学支援制度です。受給した給付奨学金は原則、返還の必要はありません。支援対象となるか確認してから申し込んでください。

### 対象学生

心身ともに健全で、以下①②③④の条件をすべて満たしている学生

①経済的理由により修学困難である（住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯である）

⇒下記「[進学資金シミュレーター](#)」で対象者と表示された学生

②成績基準を満たしている（下記「[成績基準について](#)」を確認すること）

③大学等への入学時期等に関する要件を満たしている（下記「[入学時期等に関する要件](#)」を確認すること）

④（貸与奨学金を希望する場合）面接の結果、奨学金返還の必要性を理解していると判断される

※ 現在貸与奨学金のみ受給している学生が新しく給付奨学金+授業料減免を申し込む場合も、対象となります。

※給付奨学金と授業料減免は原則セットです。何らかの事情で給付奨学金は希望せず授業料減免のみ希望する場合は申込方法が異なりますので個別にご連絡ください。

### 進学資金シミュレーター

世帯の年収等により、日本学生支援機構が授業料減免の適用可否および支援区分等を決定します。収入については、2018年（1月1日～12月31日）の収入に基づく2019年度住民税情報によって日本学生支援機構が審査を行います。

申込の前に、保護者の方と一緒に「進学資金シミュレーター」で必ずシミュレーションを行ってください。

日本学生支援機構「進学資金シミュレーター」 <https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>

シミュレーション方法：

「進学資金シミュレーター」から【シミュレーションする】→【WEBシミュレーション質問入力】

→【奨学金選択シミュレーション】→【給付奨学金シミュレーション（保護者の方向け）】

→【2020年度春の在学採用の申込（現在、大学生等の方）】→【情報入力】→【結果表示】

→【印刷する（支援対象と表示された場合のみ）】

シミュレーションの結果、『満額の支援』『満額の2/3の支援』『満額の1/3の支援』の結果が表示された場合は支援対象となる可能性があります。**結果画面を印刷してください。**

支援対象と表示された場合でも、成績基準など様々な審査があるため、申し込みをしても必ずしも奨学生として採用されるとは限りません。

支援対象外と表示された場合は、申し込んでも採用される可能性は極めて低いです。

次回の募集（2020年9月頃予定）の案内をお待ちください。

秋の募集では、2019年（1月1日～12月31日）の収入に基づく2020年度住民税情報で審査を行います。

#### 制度について

日本学生支援機構のホームページで、動画「【在学採用】奨学金を希望する皆さんへ ―全編―（30分07秒）」を見て、奨学金制度への理解を深めてください。

(<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/movie.html#zaigaku>)

続いて、日本学生支援機構のホームページに掲載されている給付奨学金案内 PDF を読んで、給付奨学金制度や授業料減免などについて理解を深めてください。

([https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/\\_icsFiles/afieldfile/2020/03/26/2020\\_kyuufu\\_annai\\_1.pdf](https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/_icsFiles/afieldfile/2020/03/26/2020_kyuufu_annai_1.pdf))

また、貸与奨学金を希望する場合のみ、日本学生支援機構のホームページに掲載されている貸与奨学金案内（「大学・短期大学・専修学校専門課程に在学中の奨学金を希望する皆さんへ」PDF）を読んで、貸与額や保証制度などについて理解を深めてください。

([https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/teishutsu/\\_icsFiles/afieldfile/2020/03/23/2020\\_daigakutou\\_annai.pdf](https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/teishutsu/_icsFiles/afieldfile/2020/03/23/2020_daigakutou_annai.pdf))

また、貸与奨学金を希望する場合のみ、「奨学金貸与・返還シミュレーション」を行い、貸与額および返還額について理解を深めてください。

(<https://simulation.sas.jasso.go.jp/simulation/>)

※シミュレーションの結果を保存（印刷）しておくことをおすすめします。

#### 注意点

- ・ 第一種奨学金と組み合わせて受給する場合

現在日本学生支援機構の第一種奨学金の貸与を受けている学生が新しい給付奨学金の受給を申し込み採用された場合、第一種奨学金の貸与月額が減額または増額されることがあります。

#### 成績基準について（給付奨学金+授業料減免）

- ・ 1年生の場合

①②③のいずれかに該当すること

①高等学校等における成績の平均が、**3.5以上**であること

②高等学校卒業程度認定試験の合格者であること

③将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学習計画書等により確認できること（申込後、①②に該当しない学生に、大学から「学修計画書」の提出を求めます。）

・ 2 年生以上の場合

①②のいずれかに該当すること

①GPA（グレード・ポイント・アベレージ）が所属学部の上位 1/2 以内であること

②修得した単位数が標準単位数以上であり（※）、かつ、将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学習計画書等により確認できること

（申込後、①に該当しない学生に、大学から「学修計画書」の提出を求めます。）

※修業年限（4年間）での卒業が不可であることが確定している場合、奨学生として採用されません。

（※）標準単位数＝卒業必要単位数÷修業年限×在学年数

新2年生の標準単位数は2019年度後期終了時点で32単位

新3年生の標準単位数は2019年度後期終了時点で64単位

新4年生の標準単位数は2019年度後期終了時点で96単位

※標準単位数以上でないことについて、災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められる場合には、修得単位数が標準単位数未満であっても、学修意欲を有することが確認できれば、この基準を満たすこととなりますので、個別にお知らせください。

#### 成績基準について（貸与奨学金も希望する学生のみ）

・ 以下に示すのは貸与奨学金についての成績基準です。

※「貸与奨学金案内」の9ページに詳しく記載されています。

#### 第一種奨学金（無利子）

・ 1 年生の場合

高等学校最終2か年の成績の平均が、**3.5 以上**であること

もしくは、専修学校高等課程最終2か年の成績の平均が、3.2 以上であること

もしくは、高等学校卒業程度認定試験合格者であること

（上記基準を満たさない場合であっても、生計維持者の住民税が非課税である場合や、生活保護受給世帯の者又は社会的養護を必要とする者である場合、第一種奨学金を受給できる場合があります。）

・ 2 年生以上の場合

GPA（グレード・ポイント・アベレージ）が所属学部の上位 1/3 以内であること。

申込後、大学が各学生の GPA を調べ、所属学部の上位 1/3 以内である学生のみ第一種奨学金の対象者として日本学生支援機構に推薦します。

（上記基準を満たさない場合であっても、生計維持者の住民税が非課税である場合や、生活保護受給世帯の者又は社会的養護を必要とする者である場合、第一種奨学金を受給できる場合があります。）

※修業年限（4年間）での卒業が不可であることが確定している場合、奨学生として採用されません。

## 第二種奨学金（有利子）

①②③のいずれかに該当すること。

①（1年生の場合）出身学校、または（2年生以上の場合）在籍する学校における成績が平均水準以上と認められること。

②特定の分野で特に優れた資質能力を有すると認められること。

③学修に意欲があり学業を確実に修了できる見込みがあると認められること。

※修業年限（4年間）での卒業が不可であることが確定している場合、奨学生として採用されません。

### 大学等への入学時期等に関する要件

・高等学校等を初めて卒業（修了）した日の属する年度の翌年度の末日から大学等へ入学した日までの期間が2年を経過していない人

・高等学校卒業程度認定試験（以下「認定試験」といいます。）の受験資格を取得した年度（16歳となる年度）の初日から認定試験に合格した日の属する年度の末日までの期間が5年を経過していない人（5年を経過していても、毎年度認定試験を受験していた人は含みます）で、かつ認定試験に合格した日の属する年度の翌年度の末日から大学等へ入学した日までの期間が2年を経過していない人

・その他、外国の学校教育の課程を修了した学生も該当する場合がありますので、上記制度について示されている給付奨学金案内の13～14ページで確認してください。

### 申込を希望する場合

申込は、「スカラネット」という専用サイトを使って行いますが、「スカラネット」をスムーズに入力できるよう、まずは「スカラネット入力下書き用紙」やその他必要書類の提出（大学への郵送）をしてください。

以下の手続き①から手続き⑥を順に行ってください。

#### 手続き①

大学ホームページ（[https://www.kaichi.ac.jp/2020zaigakusaiyou\\_kyufu/](https://www.kaichi.ac.jp/2020zaigakusaiyou_kyufu/)）に掲載されている「スカラネット入力下書き用紙」【給付奨学金（貸与併用申込み用）】を印刷し、記入してください。

給付奨学金+授業料減免、もしくは貸与奨学金と給付奨学金+授業料減免を希望する場合は、必ず青色の様式「スカラネット入力下書き用紙」【給付奨学金（貸与併用申込み用）】を使用してください。印刷は白黒で問題ありません。

「スカラネット入力下書き用紙」を記入する際は、「【記入例】スカラネット入力下書き用紙」【給付奨学金（貸与併用申込み用）】を参考にしてください。

「スカラネット入力下書き用紙」1ページに、「スカラネット用ホームページアドレス（URL）」

<https://www.sas.jasso.go.jp/>」にアクセスして入力するよう記載がありますが、まだ入力せず、印刷・記入のみ行ってください。受付番号、ユーザ ID、パスワードは、手続き④を済ませた学生に対して、大学担当者がお知らせしますので、手続き①の段階では記入しないでください。

#### 手続き②（該当者のみ）

・「給付奨学金案内」17 ページを確認し、該当する項目があれば必要書類を準備してください。

以下は、貸与奨学金もあわせて希望する学生のうち、該当者のみ準備してください。

・「貸与奨学金案内」31～34 ページに記載されている「Ⅱ収入状況の確認」を確認した上で、生計維持者の収入状況をマイナンバーから取得できない学生の場合…

33～34 ページに記載されている「提出する証明書類」が必要です。

・「貸与奨学金案内」6 ページに示されている家計審査基準よりも家計の収入が高いために不採用となる不安がある学生のうち、「貸与奨学金案内」38 ページに記載されている「特別控除に関する証明書類」を確認した上で、あてはまる項目がある学生の場合…

※控除後の収入で家計審査を受けたい場合、「特別控除に関する証明書類」が必要です。

※家計審査を受けるための収入の特別控除です。**受給した貸与奨学金の返還額が免除されるという意味ではないのでご注意ください。**

#### 手続き③

郵便窓口・コンビニエンスストア等で「レターパックライト」(370 円)を 2 部購入してください。

(<https://www.post.japanpost.jp/service/letterpack/index.html>)

レターパックライト 1 部のお届け先欄に本学の情報を、ご依頼主欄に学生本人の情報を、品名欄に「奨学金書類」と記入してください。「保管用シール」を忘れずにはがし、ご自身で保管してください。

もう 1 部のレターパックライトは、**大学から学生への返信用レターパックライトとさせていただきます**ので、お届け先欄に学生本人の情報を記入してください。ご依頼主欄・品名欄は空欄のまま問題ありません。また、「保管用シール」ははがさないでください。

#### 【提出書類一覧】

・スカラネット入力下書き用紙（記入済みのもの）

・進学資金シミュレーターのシミュレーション結果画面を印刷したもの

・その他必要書類（手続き②の該当者のみ）

・半分に折った返信用レターパックライト（お届け先欄に学生本人の情報を記入したもの）

上記書類をすべて、レターパックライトに入れて大学に郵送してください。

【お届け先: 〒277-0005 千葉県柏市柏 1225-6 開智国際大学 教務学生課 奨学金担当】

申込期限については下記[申込期限および初回振込日について](#)を確認してください。

#### 手続き④(大学担当者によるチェック)

大学は、学生からレターパックで送られた「スカラネット入力下書き用紙」、その他必要書類（手続き②の該当者のみ）をチェックし、**記入漏れや書類の不備があれば大学から確認の連絡をします。**

「スカラネット入力下書き用紙」が問題なく記入できていることを大学が確認できたら、「スカラネット入力用のユーザ ID・パスワード」、「減免申請書」、「マイナンバー提出書」、「給付奨学金確認書」、「確認書兼同意書」（貸与奨学金希望者のみ）等を、返信用レターパックライトを用いて大学から学生に返却します。

#### 手続き⑤

大学から返信用レターパックで書類が返却されたら、返送された「スカラネット入力下書き用紙」を見ながら専用サイトで「スカラネット」入力手続きを行ってください。

「スカラネット」入力完了後に表示される 16 桁の「受付番号」は、次の手続きで使用しますので必ずメモしておいてください。

#### 手続き⑥（手続き⑤「スカラネット」入力完了から **1 週間以内**に行ってください）

「スカラネット」入力後に表示された「受付番号」を、大学から送られた「マイナンバー提出書」に記入してください。

「マイナンバー提出書」に必要事項をすべて記入・押印したら、「マイナンバー提出書」とマイナンバー確認書類をすべて水色の提出用封筒に折って入れ、郵便局窓口から**簡易書留**で**日本学生支援機構**へ送ってください（ポストでの投函はできません。必ず郵便局窓口から差出してください）。

また、大学から送られた「減免申請書」（「スカラネット」入力後に表示された「受付番号」を記入すること）、「給付奨学金確認書」（貸与奨学金を希望する場合、これに加えて「確認書兼同意書」）を、同じく大学から送られた返信用封筒に入れて、切手を貼って**普通郵便**で**大学**へ返送してください（ポスト投函もしくは郵便局窓口から郵送できます）。この時、「確認書」は 1 枚目の提出用のみ大学に返送し、2 枚目の本人控は本人が保管してください。

手続き⑥をもって、申込手続きは完了となりますが、**必ずしも奨学生として採用されるわけではありませんので注意してください。**

**貸与奨学金の希望者は申込後に必ず面接を受ける必要があります（面接の時期・方法は別途連絡いたします）。**

また、採用された場合は年に 1 回、学業成績や経済状況の調査「適格認定」があります。これによって、**支給額が変動**する可能性があります。この他にも、「継続願」の提出や「在籍報告」（年 2 回）など、年間



を通して必要な手続きがあります。必要に応じて書類の提出や説明会・面接への出席が必要であり、**応じない場合は廃止となる場合があります。**

#### 申込期限および初回振込日について

手続き⑥を5月29日（金）までに完了させ、6月に実施予定の面接を通過した場合（貸与奨学金希望者のみ）、初回振込日は7月10日（金）です。

手続き⑥を6月30日（火）までに完了させ、7月に実施予定の面接を通過した場合（貸与奨学金希望者のみ）、初回振込日は8月11日（火）です。

#### 授業料減免について※授業料以外は減免の対象にはなりません（施設設備資金、学生会費等は対象外）

採用された場合、給付奨学金とあわせて授業料減免が受けられます。

納入期日（前期分は4月1日、後期分は10月1日）までに大学に納入する授業料の金額に変更はありませんが、給付奨学生として採用された学生のみ、支援区分によって、上限を70万円として、各学生に請求した授業料の3/3、2/3、1/3の金額を減免（還付）します。

還付は、2021年1月以降の予定です。

#### 入学金減免について（1年生のみ）

1年生のみ、支援区分に応じて入学金のうち3/3（満額）、2/3、1/3の金額を減免（還付）いたします。還付は、2021年1月以降の予定です。

#### お問い合わせ先

日本学生支援機構 貸与・給付奨学金に関するお問い合わせ

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/otoiawase/index.html>

電話：0570 - 666 - 301（ナビダイヤル）

#### 担当部署

開智国際大学 教務学生課 奨学金担当

[shogakukin@kaichi.ac.jp](mailto:shogakukin@kaichi.ac.jp)